

ドライアイスで洗えば、  
リユースされる部品は、  
新品になる。

部品の汚れは、破損でも劣化でもない。傷つけないように洗うことで、外観においても、新品同等の品質を保つことができるはずだ。ドライアイス・プラスト洗浄は、部品リユースの質を高めるために活用しているリユース技術のひとつ。ドライアイス\*とエアアの混合噴射が、複合機のフレーム部分の効率的な洗浄を可能にしました。汚れの程度はどうか、大きさはどうか、材質はどうか、分解レベルはどうか。それぞれの部品の状況を細かく分析し、もっとも適した洗浄手法を選べば、リユース率はさらに向上させることができます。部品リユースを軸とした資源循環システムの継続により、2007年度単年でのCO<sub>2</sub>抑制量は、25,000t-CO<sub>2</sub>を記録。洗浄技術は、生産技術でもある。

私たちの環境哲学は、ただの思想ではない。それは、品質そのものです。

\*他産業の製造工程で発生する炭酸ガスを回収してつくられた副産物を購入しています。

減らせ、CO<sub>2</sub>  
環境哲学  
富士ゼロックス

リユース品質を支える洗浄技術